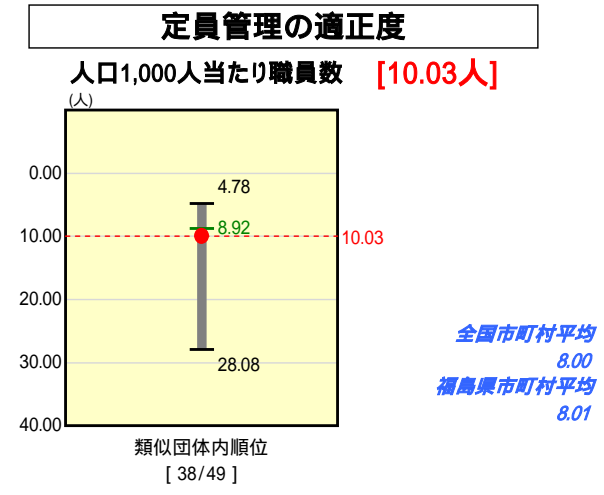
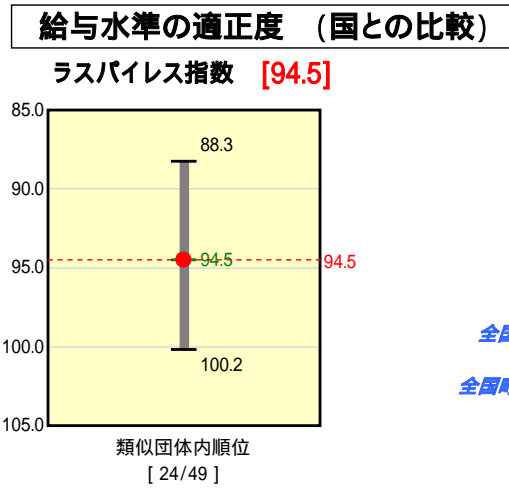
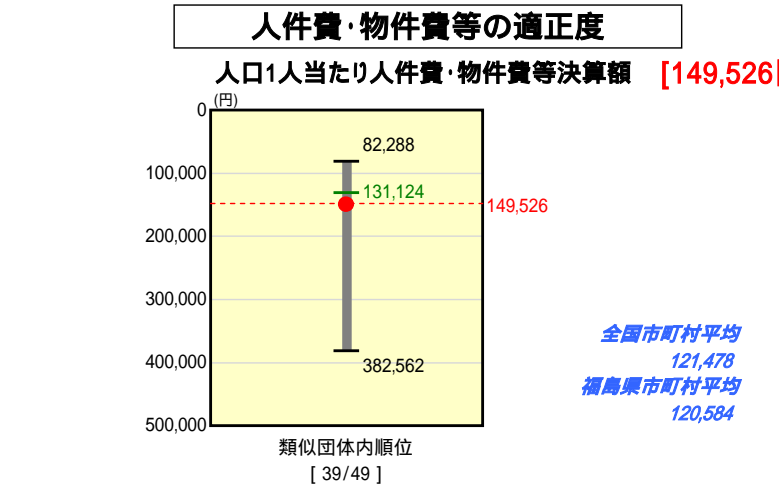
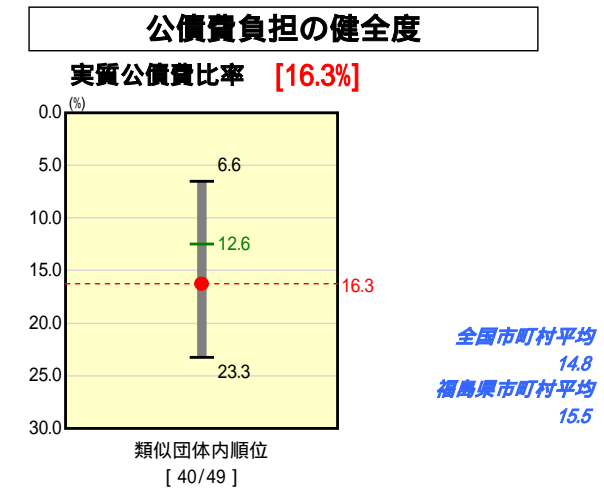
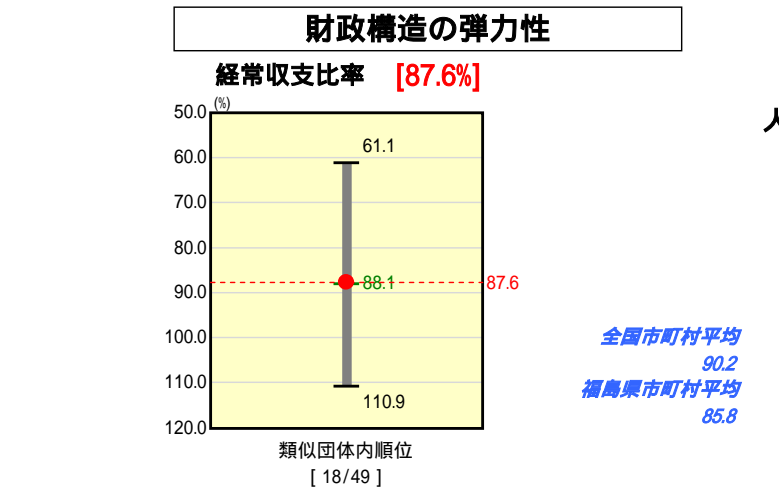
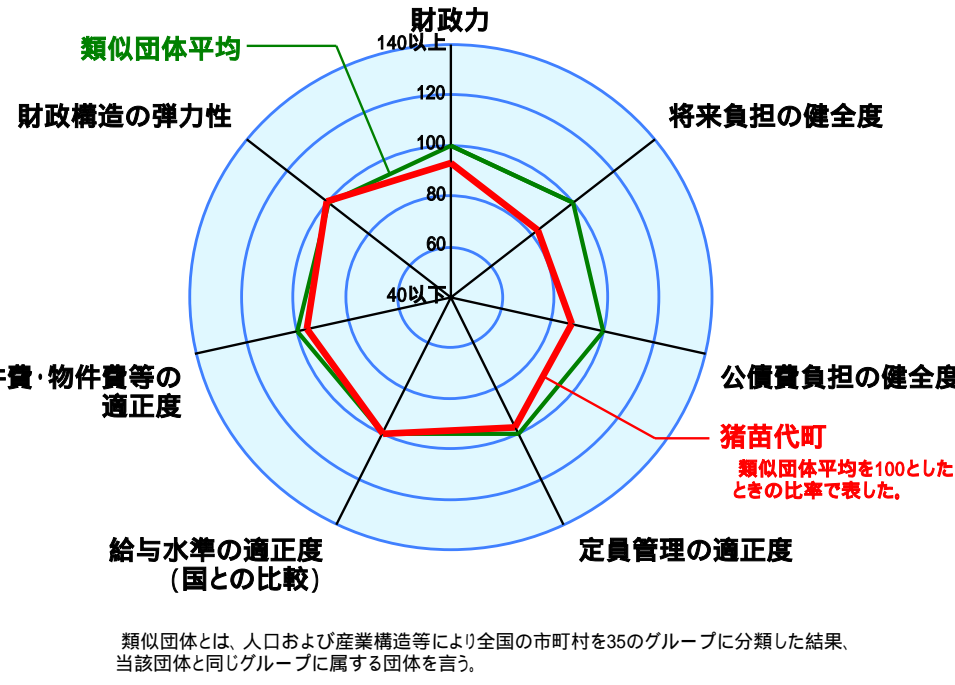
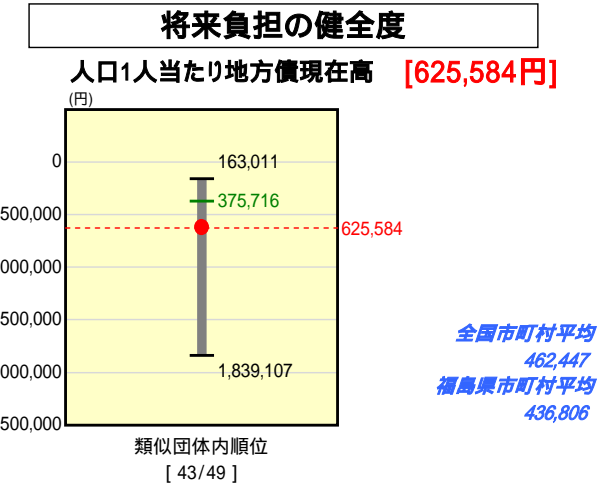
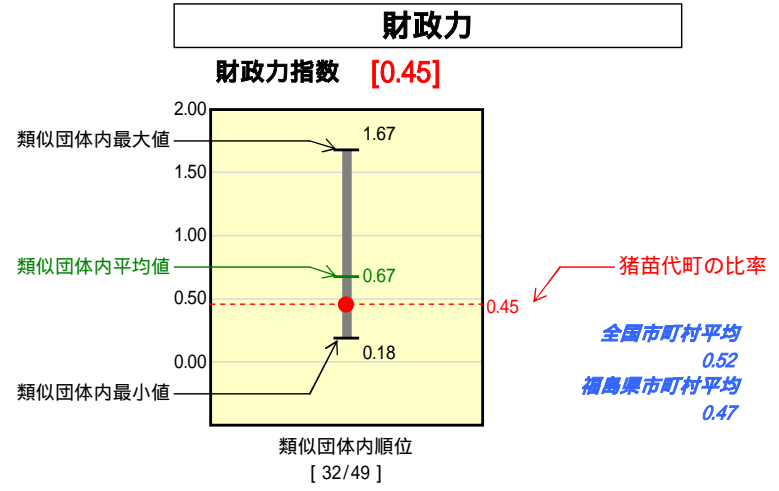


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 猪苗代町

人口	17,353人	(H18.3.31現在)
面積	395.00	km <sup>2</sup>
歳入総額	8,011,506	千円
歳出総額	7,807,551	千円
実質収支	158,974	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**：人口の減少や、長引く景気低迷による市町村民税の減収、評価替による固定資産税の落ち込みの等を要因とする財政基盤の弱さなどから、0.45と類似団体平均を下回っている。今後は総務省通知による定員適正化計画に基づく(退職者不補充(5年間で4.9%減)や経常経費の削減(5年間で8.9%減)、投資的経費においては必要性・緊急性・効果等から重点選別を徹底する。また、実施決定済、着手済事業についても事業規模の見直しや進捗調整を図り、経常経費充当一般財源の削減(平成21年度までに7%)を実施するとともに、税の徴収率向上、受益者負担の適正化、町有財産の売払などの歳入確保(今後5年間で合計1億2百万円)にも努める。

**経常収支比率**：類似団体平均に比べ0.5%下回ってはいるが、税収の落ち込みと地方財政計画の見直しによる地方交付税の減少などにより一般財源が減少する中において、事業の抑制から臨時的経費が減少する一方、公債費(平成13年度比7.3%増)や扶助費(平成13年度比45.1%増)において増加傾向にあるため、比率は年々悪化している。今後は、なお一層の事務事業の見直しを進めることにより、経常経費の削減(5年間で8.9%減)に努める。

**実質公債費比率**：類似団体と比較し3.7%上回っている。主な要因は平成9年度から実施している亀ヶ城公園整備事業や下水道整備事業、債務負担行為による道路整備事業などである。また、今後も税収入額や普通交付税などの標準財政規模が減少することが予想されるので、大規模事業の抑制や実施時期を検討することにより、類似団体の水準となるよう努める。

**人口1人当たり地方債現在高**：類似団体と比較し1.67倍上回っている。主な要因は過疎対策事業、亀ヶ城公園整備事業、公営住宅建設事業、学校施設整備事業などである。今後も人口の減少が予想されることから、新規地方債の発行抑制により類似団体の水準となるよう努める。

**ラスパイレス指数**：類似団体平均と同水準を確保しているが、今後も、各種手当の見直し等により一層の給与の適正化や定員の適正化に努める。

**人口1,000人当たり職員数**：類似団体平均を1.11人上回っているが、平成17年度を初年度とし、平成22年度までの5年間で、総務省通知による定員適正化計画に基づく(定年退職者の不補充、事務事業の見直し、民間委託の推進、行政組織機構改革などにより4.9%(10人)の削減を目標とし、より適正な定員管理に努める。

**人口一人当たり人件費・物件費等決算額**：一人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、町道除雪に要する経費が他の団体に比べて高く、維持補修費を押し上げていることが主な要因である。また人件費については、総務省通知による定員適正化計画の実施により抑制に努めるものの、物件費は、人口減少の中、町民生活に必要な経費の確保が必要であり、急激な改善は望めないものと思われる。